



校長室だより（令和7年9月）

2学期が始まりました

猛暑、酷暑の毎日でした。教室にはクーラーが効いていますが、廊下や体育館、ましてやグラウンドの暑さたるや！ 体に堪えますね。私が日課にしている校内散歩も、校舎内から体育館脇、ピロティー、グラウンドへのコースを回り終えるころには、結構汗が・・・。

そんなある日、美しいピアノの音色が響いてくるのに誘われ音楽室を覗くと、P先生が熱心に演奏していました。お邪魔してしばらくお話しする中で、P先生から「校長室だより」楽しみにしてます、という言葉が！ 私の散歩の足取りも、軽くしてもらいました。

また別の日には、体育館に沿ってグラウンドに向かうタイミングで、体育の授業を終えた1年の男子たちが挨拶してくれました。私が手に袋を持っているのを見て、「校長先生、掃除してるんですか？」「僕がやりますよ！」と口々に言ってくれたのに、ほっこりです。優しい生徒たちです。



少しずつ日が短くなり、学校を出る時には虫の声が校舎を包むように湧き起こっています。暑さが収まってくる8月末ころを「処暑」という名で呼びますが、秋の気配がやっと感じられるまで、それからひと月が経ってしまいました。

厳正なる審査の結果、文化祭のポスターのデザインが決まったのが6月。夏休み前に、立派なポスターに

仕上げてもらいました。選ばれたのは3年のKさんによる作品です。左が「綴るなす通信」で発表された原画、右が、もろもろの情報を入れたポスターです。

生徒が見上げる校舎に青空が映え、とっても素敵です。

青綾祭が始まります

実は9月はとっても忙しく、毎週のように出張が1～2日入り、学校から離れる寂しい日々でした。そのようなわけで、気づいたら明日が文化祭なのにすっかり驚いています。秋分の日、たまっている仕事をしに校長室にこもったのですが、学校にいなかった間に、広場にステージが設営されていました。雲の样子が面白かったので、一緒にパチリ。誰もいない光景です。

ステージは校長室のすぐそばに立ちますので、今日は軽音楽部の生徒たちのリハーサルが直に聞こえてきて、元気が出ます。



私は映画館で観る映画が大好きなのですが、最近、ずいぶん前の作品が続けて2本、地元の映画館でかかっていたのを観ることができました。「リンダ リンダ リンダ」と「グット・ウィル・ハンティング/旅立ち」。20年前、30年近く前の映画です。特に「リンダ リンダ リンダ」は、ある高校生たちの、文化祭の準備から最終日までを描くお話。綾瀬西高校の今にうってつけで、それも鑑賞ポイントです。

この高校の文化祭は3日間も(!)あるのですが、ガールズバンドのメンバーが、盛りだくさんのアクシデントを乗り越え、体育館で2曲演奏する。そこで映画は終わります。

昔と同じところで泣いている自分が、ちょっとおかしかったです。



この映画の特に気に入っているポイントです。

- ・練習にのめりこむあまり、スタジオで全員爆睡。目覚めたのは出演に間に合わない時間。
- ・友達がつなぎでステージに立ち、アカペラで一人歌う。その圧倒的な歌唱に生徒が次々と体育館へ。だれも一言も発することなく、静かに腰を下ろして聴き入っている。
- ・「先輩」もギターを片手にハスキーボイスで演奏を披露。体育館が、さながらコンサートホールのように。
- ・この「先輩」のキャラクターが際立って良い。彼女が文化祭の最中、ひとり屋上で開いていた喫茶店は、来た人にクーラーボックスから飲み物をポンと渡す。そして一緒に飲む。
- ・バンドメンバーがずぶぬれで体育館に到着した時、「先輩」と友達は笑って「遅いよ～」と言うのみでステージを引き上げる。空気が寛容に満ちている。
- ・韓国からの留学生がボーカルとして熱唱するのが、ブルーハーツの「リンダ リンダ」・「終わらない歌」。盛り上がるライブの演奏をBGMに、どしゃぶりで人気もなく暗くなった校舎が静かに切り取られていく光景の、なんと美しいこと！



綾瀬西の今にうってつけの映画だった、と思えたことがもう一つありました。さっきリハーサルで流れてきた「リンダ リンダ」に思わず歓声です。ボーカルは、H先生でした。

明日は開会式で生徒の皆さんに会います。二度と同じものにはならない文化祭。「みんなが綾なす文化祭」にできるよう、みんなで楽しみましょうね。

また、お知らせしますね。

